

6月8日(月)

尊 い 信 仰

聖書朗読 ペテロの手紙第二 1:1～11

イエス・キリストのしもべであり使徒であるシモン・ペテロから、私たちの神であり救い主であるイエス・キリストの義によって私たちと同じ尊い信仰を受けた方々へ。
Ⅱ ペテロ1:1－11

時々話題に上がる、何十年もの間、大変価値があるのにもかかわらず誰にも気づかれないまま埋もれていた物が急に発見されて、とてつもない値が付くというようなことがあります。そのようなニュースは私たちをわくわくさせます。そのような状況ですばらしく価値のある絵画が発見されることがあります。

値が付けられないほど貴重な絵画が平凡な絵画に混ざって壁に掛けられていて、ある日、ごみの山から宝物を見つけることができる目を持った美術品収集家はその偉大な名作を救い出します。こうした話は、一瞬で大金持ちになった人の話として終わってしまう場合が多いです。

時として、信仰なしでは耐えることはできないようなことでも、イエス様の弟子たちは耐え忍ぶことができます。私たちは、何年もの間、信仰を持続けてはいるけれど、主を信じるという真の価値、すばらしさを本当に理解しているでしょうか。主が私たちを慰めて下さる存在であり、恵みを与え続けて下さる存在であることを経験し続けることによって、主への信仰がどれほど価値があるかを私たちは知ります。そして、主の強さ、平安、喜びが私たちを支えてくれたことを知り、私たちは神をほめたたえるのです。

ペテロの手紙第二 1:1～11が私たちに教えているように、それは尊い約束で満たされた尊い信仰なのです。そして尊い信仰は永遠の御国への温かい歓迎につながっています。私たちがキリストにあって与えられているもの全てがどれほど貴重で価値あるものかを知ることができるように、もっと近くで見られるよう主は私たちを助けてくださいます。

讃美歌第二編 37 主のふかき愛は

祈 り 聖なるお父様、尊い信仰と、私たちが待ち望む手厚い歓迎に感謝いたします。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 クリーバーン / クライド H・スリンプ

今日 の 力

2026年6月8日 ～ 6月14日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

6月9日(火)

わだち
轍をたどって

聖書朗読 ペテロの手紙第二 1:12~15

ですから、すでにこれらのことを知っており、現に持っている真理に堅く立っているあなたがたであるとはいえ、私はいつもこれからのことを、あなたがたに思い起させようとするのです。 II ペテロ 1:12

日本に住んでいたことがあるのですが、ある早朝、私と夫は大雪で目が覚めました。最寄りの駅まで夫を車で送っていこうと思っていたのですが、未舗装の道路がどこにあるのか全く分からないほどの大雪でした。結局、夫が駅まで運転して、夫が作った轍で私が帰り道がわかるようにしてくれました。それで、帰りは夫が轍をつけてくれた道をたどることで、私は安全に家に帰ることができました。

今日の聖句では、ペテロが死んだ後も信者たちが教えられたことを思い起こすことができるように、神様のみことばから離れないようにすることの大切さを教えています。箴言3:6で書かれているように、『主はあなたの道をまっすぐにされ』、イザヤ30:21で書かれているように、『あなたが右に行くにも左に行くにも、あなたの耳はうしろから「これが道だ。これに歩め」という言葉を聞く』のです。

神様のみことばを思い出すということは、はっきりと残る、私たちを安全に家まで導いてくれる轍をたどっていくようなものではないでしょうか。神様を敬う人の、試練を経て証明された信仰によって作られた、慣れ親しんだ轍の上を歩けるとは何というめぐみでしょう。轍の上を歩くことは必ずしも悪い事ではありません。その轍がどこに繋がっているかが大切なのです。

讃美歌 291 主にまかせよ

祈り 恵み深き父なる神様、神様を敬う人々の生き方と彼らが残した信仰の轍に感謝いたします。その轍に忠実に従うことができますように。そして他の人たちをあなた様のもとに安全に導く轍を、私たちも残せますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンド・オークス / スーザン K・ギボニー

6月10日(水)

神の栄光

聖書朗読 詩篇 19篇

天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。 詩 19:1

カメラマンの友人が、とても美しいテキサスの日の入りの写真を何枚か送ってくれました。彼女はカメラを玄関ポーチの上にセットし、青空に浮かぶ山並みのように見える白い雲、その下には焼け付くようなオレンジ色の筋、それがだんだんとピンクや黄色のリボンに変わっていく様子、その瞬間をフレームに収めました。それは言葉では言い表せられないほど美しいものでした。

彼女の写真を眺める時間は、私にとって心の癒しの時間でした。神様の偉大さや素晴らしさを実感すると、大小関わらず自身の心配事はどうでもよくなりました。私にありがちな“すべきこと”(この写真を額に入れて飾らなきゃとか、もっと夕焼けの美しさに気付かなければとか)さえかき消されたのです。

あなたは最近、空を見ましたか。空はあなたにメッセージを送っていますよ。言葉ではなく、驚きをもってです。そのメッセージは、神様は私たちが知っている最も賢い人や素晴らしい人よりも偉大なお方であると伝えています。神様は『きのうもきょうも、いつまでも、同じです。』(編注:ヘブル 13:6)でも、神様の創造性と多様性は私たちの能力を超えており、到底真似や理解することはできません。神様は偉大です! そして、神様のあわれみは決して尽きることはありません。

立ち止まって、空を見上げましょう。素直な気持ちで、両手を開き、リラックスしましょう。神様の素晴らしさが、たとえ一瞬であっても、喜びをもたらします! 神様にご栄光あれ。神様にご栄光あれ!

讃美歌 17 空はほがらに

祈り ああ、神、我が父、私たちが昼も夜も空に見ることができる、声なきあなたの啓示に感謝いたします。その啓示によって、私たちの心が、思いが新たになることに感謝いたします。あなたはわが岩、わが贖い主です。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者 エミリー Y・レムリー

6月11日(木)

成長する信仰

聖書朗読 ヨハネの手紙第一 3:1～10

またキリストによって、いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導き入れられた私たちは、神の栄光を望んで大いに喜んでいます。

ローマ 5:2

信仰にはいくつかの段階があるという人がいます。最初は、全てを受け入れ、全てを期待する、親に依存している子としての段階。次は、自身が神になりたいと思う反抗期の子としての段階。そして最後は、献身の難しさに直面し、責任のある親としての段階です。もしあなたの信仰が成長していく中で、これらの段階を感じることができているのなら、どの段階においても、それほどうまくは行かないことも知っているでしょう。

どの段階でも“手放す”こと、そして目には見えない神様に手を伸ばして助けを求めることが必須です。手放し、そして神様や人を愛し続けることは、神様が私たちに求めておられることです。犠牲に耐えられる人は少ないです。高齢の使徒ヨハネは、信仰のあらゆる段階の間に対する答えは愛であると記しています。神様の愛は、信仰においてヨチヨチ歩きのこどもである私たちを支えてくれます。私たちが信仰において反抗期であるときも、神様の愛はそこにあります。そして神様の愛は、私たちの信仰が成長するだろうと信じてくださっています。

今日私たちがどの段階にしようとも、神様の愛が真の答えです。神様の愛について読み、神様の愛について考え、神様の愛について祈り、私たちが神様の愛に没頭することができれば、暗闇の中にいても信仰を持ち続けることができるでしょう。何が起きようと、神様はあなたを愛し、神様の愛は私たちが愛し続けることができるように私たちを変えてくださいます。

讃美歌第二編 大波のように

祈り お父様、私たちの立っているこの揺るぎないあなた様の愛に感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者 スティーブン S・レムリー

6月12日(金)

あなたは先見の明がありますか

聖書朗読 創世記 24:12～27

わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。—主の御告げ—それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。 エレミヤ 29:11

アブラハムが信仰の模範として挙げられる理由は、神様の計画に対する彼の全面的な信頼ゆえにです。アブラハムは過ちを犯し、疑念を持つこともありましたが、彼自身の人生や他の人々の人生に対する神様の計画を待ち望み、最優先しました。今日の聖句のお話は、神様のご計画と目的が実行される例の一つです。アブラハムは息子イサクのために妻を迎えるにあたって神様のご計画に従いました。アブラハムのしもべは、彼の使命を果たすとき、神様に導きを求めて、主人の例になりました。神様のご計画の一部となれたことは、アブラハムと彼の最年長のしもべにとって恵みでした。

苦渋の決断を迫られたり、試練に直面したりした時、私たちは神様のご計画に全面的な信頼を置いているのでしょうか。目先の事だけではなく、その先を見据えることができるのでしょうか。私たちの選択やその後の私たちの人生が、周りの人々に対してだけでなく、その後に影響を受けるかもしれない未来の人々に対しても思いを馳せることはできるのでしょうか。

アブラハムと彼のしもべは彼らの信仰と模範によって、私の人生の導きとなりました。彼らは、キリストを通して私を神様のもとへ連れていくための、神様の究極のご計画の一部となりました。今日、神様は私をどのようにお使いになられるのでしょうか。神様のご計画にゆだねることができる、勇気のある人になりたいです。そして喜びたいです！

讃美歌 285 主よ み手もて

祈り 父なる神よ、究極の知恵と、あなた様を知る助けとなる、あなた様の愛に感謝いたします。キリストを生活の中心に置くことができるようお助けください。そしてほかの人々をキリストのもとに連れていくために私をお使いください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / アニータ・プライス

6月13日(土)

神の尽きることのない寛大さ

聖書朗読 創世記 26:26～33

持ち物を売って、施しをしなさい。自分のために、古くならない財布を作り、朽ちることのない宝を天に積み上げなさい。そこには、盗人も近寄らず、しみもいためることはありません。
ルカ 12:33

明らかにイサクと隣人たちとの関係は良くありませんでした。どうやらその原因は水という貴重なものに関してでした。(カリフォルニアの住人なら理解できると思います！)実際のところ、私たち皆理解できると思います。私たち人間は争います。足りなくなりそうだと思うと、それが欲しくなるからです。たとえ他の人の分が足りなくなるとわかっていても欲しくなってしまうのです。

しかし、そんな私たちに対して神様はずっと寛大であられます。イサクは、神様は寛大なお方で無制限に与えてくださることを知っていたので、親切と和解の精神を持つ余裕があり、水を求める隣人に対して争うことは避け、場所を移し、別の井戸を掘ったのです。

なぜ神様はこのような恵みを私たちにくださるのかを真剣に考えれば、おのずと争いを避け、お互いを尊重しあう人間関係を求めるはずです。もちろん私たちの努力がすべて報いられるわけではありません。神様はわかってください！でも、神様が私たちすべてに寛大でいてくださるのを妨げるものは何もありません。私たちもまた何にも阻まれずに寛大であるべきです。

讃美歌第二編 191 主のまことはくしきかな

祈り お父様、私の心の目があなた様の私への尽きることのない寛大さだけを見ていられますように。集中できますように。そのような目を通して、隣人の必要が何であっても、全ての隣人との平和を見通し求めることができるようお助け下さい。イエス様のお名前によって。アーメン。



アイダホ州 ボイシ / マイク・サンダース

6月14日(日)

神様の微笑

聖書朗読 創世記 39:8～10

心の曲がった者は主に忌みきらわれる。しかしまっすぐに道を歩む者は主に喜ばれる。
箴言 11:20

私のお気に入りの思い出の一つは、飛行機を降りて、私を見つけた両親の顔がぱっと明るくなるのを見たことです。家族の久しぶりの再会は本当にうれしいものです。

神様の子どもたちが神様に向かって従順に歩むことを選んだ時、神様の顔がぱっと明るくなるのが想像できます。ヨセフがポティファルの妻の誘惑を拒絶した際に言った言葉を思い出してください。「どうして、そのような悪事をして、私は神に罪を犯すことができますでしょうか。」(創世記39:9)ヨセフが一時的な快楽や、ヨセフをその気にさせたかもしれないプライドよりも、神様を選んだとき、神様の心は喜びに満たされたに違いありません。もちろん神様はヨセフのための計画、どのようにヨセフに栄誉を与え昇進させるかをご存じでした。もしかすると、神様はすべては了解済みだと微笑み、敵の計画が失敗に終わった時、笑われたかもしれません。

勇気を出して、“今回だけなら問題にならないよ”という嘘をはねつけましょう。神様よりも人を喜ばし、そそのかす妥協精神を拒絶しましょう。恐怖や不安へのドアを閉めてしまいましょう。そして、あなたの上に降りそそぐ神様の喜びという祝福を享受いたしましょう。

讃美歌 450 わかき日のみちを

祈り 私の創造主であり贖い主、私はあなたの喜びのために造られたことを、みことばを通して私は学びました。あなた様のみめぐみを喜ぶとき、あなた様の栄誉と栄光が私の最大の関心事でありますように。イエス様の尊いお名前によって。アーメン。

コロラド州 ニューキャッスル / バージー A・ニーマン